

皆さん、こんにちは。今年、瀬戸高校の図書館司書になった、大場秀子です。
せっかく、図書館司書になったので、私の好きな本について書いてみたいと思います。

～源氏物語～

源氏物語が好きです。多くの訳があるので、読み比べも面白い。

学校の授業で「源氏物語」に触れる機会はありませんでしたが、長い物語のほんの一部だけで最初はあまり関心がありませんでした。中学生の時、司書の先生に薦められた田辺聖子の「新源氏物語」を読み、全体のストーリーを知ること、その魅力にとりつかれました。

また、源氏物語は多くの訳者により、それぞれの感性で現代語訳された作品が発表されています。それぞれの訳者により物語のテイストが大きく変わることも魅力の一つです。

特におすすめの3冊を紹介します。

「新源氏物語」訳：田辺 聖子

原典をたった3冊にまとめ、とても読みやすく
物語の面白さを十分に味わうことができる作品です。
受験の役に立つ一冊かもしれません。

「謹訳源氏物語」訳：林 望

平安時代が舞台の作品で、現代の私たちには馴染みが
なくわかりにくいことも多くあります。この作品は説明が
文章に巧みに織り込まれており、スムーズに読み進める
ことができ特におすすめの作品です。

「窠変源氏物語」訳：橋本 治

これまで女性の視点で繰り広げられていた世界を
「光源氏」本人、つまり、男性視点で描いた作品。
全く違った世界観になっているところが面白い
作品です。